



江野澤 よしかつ えのさわ吉克県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

コロナ感染症対策に万全 令和4年度・9月補正予算が可決

県民・事業者を支援

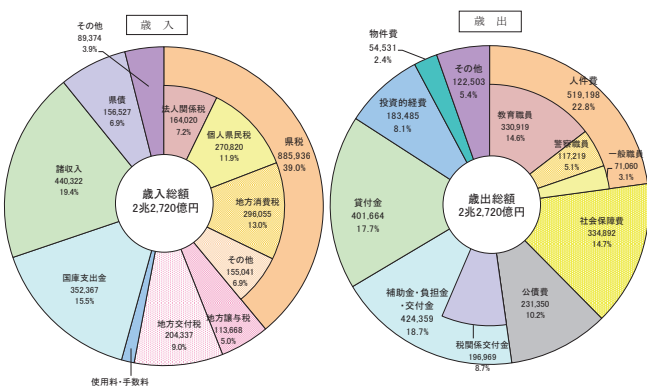
予算特集

9月県議会で、感染症対策や物価高騰等に対応するための令和4年度補正予算が可決されましたので、その主な内容をご紹介します。

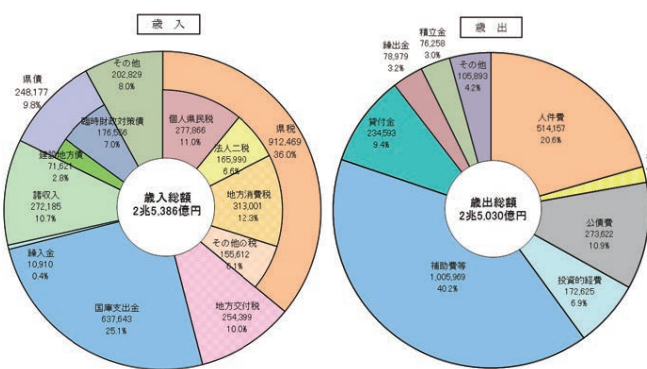
● **基本的な考え**
新型コロナウイルス感染症については、7月以降、新

令和4年度9月補正予算

〔9月補正後予算の歳入・歳出の内訳〕 ※単位百万円



〔令和3年度一般会計決算の歳入・歳出の内訳〕 (単位: 百万円)



歳入は2兆5,386億円 実質83億円の黒字

令和3年度の千葉県一般会計決算見込みが公表されましたので、概要をご紹介します。

令和3年度の千葉県一般会計決算見込みが公表されましたので、概要をご紹介します。

● **歳入**は2兆5,386億円、歳出は2兆5,030億円、実質83億円の黒字となりました。

● **歳入**は15・3%増、歳出は16・5%増と、何れも大幅な伸びとなったのは、新型コロナウイルス感染症に対応するための歳入が5・953億円にのぼり、その財源として多額の国庫支出金等が主な要因です。

令和3年度・決算見込み

令和3年度一般会計の決算は、歳入が前年度比15・3%増(3,368億円増)、の2兆5,386億円、歳出が前年度比16・5%増(3,547億円増)の2兆5,030億円となり、実質収支は282億円となりますが、このうち199億円は、新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の概算交付によるもので、令和4年度に国に全額返還する必要があります。

● **このため**
① 感染症患者を受け入れるための空床確保や、急増する自宅療養者への支援などの医療提供体制の整備
② 多子世帯の公立学校給食費の無償化や、エネルギーや食料品・資材価格の高騰の影響を受けている生活者や事業者の支援
などの取組を進めるほか、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、早期に取り組みべき事業が計上されています。

- **医療提供体制の整備**
541億9百万円
- ① 入院患者受入のための空床確保等
336億6百万円
- ② 自宅療養者の支援
60億15百万円
- ③ 高齢者施設等の職員に対するPCR検査実施
57億25百万円
- ④ 臨時医療施設の整備運営
25億30百万円
- ⑤ 保健所の体制強化
23億円
- ⑥ 入院医療費等の公費負担
17億83百万円
- **検査体制の確保**
16億70百万円
- ⑦ 搬送体制の確保
4億80百万円
- **感染拡大の防止**
16億円
- ① 飲食店感染防止対策事業
14億円
- ② 地域公共交通感染防止対策事業
2億円
- ③ 事業者が行う車両消毒などの感染予防対策の取組を引き続き支援 ※次の頁に続く

決算見込みのポイント

令和3年度一般会計の決算は、歳入が前年度比15・3%増(3,368億円増)、の2兆5,386億円、歳出が前年度比16・5%増(3,547億円増)の2兆5,030億円となり、実質収支は282億円となりますが、このうち199億円は、新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の概算交付によるもので、令和4年度に国に全額返還する必要があります。



西内河根場線・袖ヶ浦市側の橋脚工事

●概要
交通渋滞の解消やアクアライン着岸地周辺と袖ヶ浦市街地のアクセス向上を図るため、県では、都市計画道路西内河根場線及び中野畑沢線における袖ヶ浦市坂戸市場から木更津市金田東三丁目までの延長1・1km区間でバイパス整備を平成29年度から進めています。車道4車線と両側歩道です。

●現在の状況
用地取得率は約9割まで進んでいます。県では、浮戸川を跨ぐ橋梁工事を先行して整備するため、進入路が完成した袖ヶ浦市側で、下部工事に着手したのとことです。

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市阿部地先については、幅員が狭く歩道もないことから、県では歩行者及び車両の安全を確保するため、富川橋南側交差点から広域農道までの0・3km区間で、現道を拡幅する事業を平成30年度から進めています。車道2車線と歩道は片側です。

●現在の状況
平成30年度に、地元説明会や境界立ち合いを実施し、用地取得に向けた手続きが整ったことから、県では、事業区間の全線にわたり、用地交渉を進めています。

●現在の状況
本事業については、蔵波側の0・3kmの整備を完了しており、県では現在、野田側の0・9km区間において用地取得を進めています。これまでに、地元説明会を総合、引き続き、境界立ち合いや用地取得を実施していく予定です。

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの現道市蔵波から野田までの現道

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの現道市蔵波から野田までの現道

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの現道市蔵波から野田までの現道

●概要
交通渋滞の解消やアクアライン着岸地周辺と袖ヶ浦市街地のアクセス向上を図るため、県では、都市計画道路西内河根場線及び中野畑沢線における袖ヶ浦市坂戸市場から木更津市金田東三丁目までの延長1・1km区間でバイパス整備を平成29年度から進めています。車道4車線と両側歩道です。

●現在の状況
用地取得率は約9割まで進んでいます。県では、浮戸川を跨ぐ橋梁工事を先行して整備するため、進入路が完成した袖ヶ浦市側で、下部工事に着手したのとことです。

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市阿部地先については、幅員が狭く歩道もないことから、県では歩行者及び車両の安全を確保するため、富川橋南側交差点から広域農道までの0・3km区間で、現道を拡幅する事業を平成30年度から進めています。車道2車線と歩道は片側です。

●現在の状況
平成30年度に、地元説明会や境界立ち合いを実施し、用地取得に向けた手続きが整ったことから、県では、事業区間の全線にわたり、用地交渉を進めています。

●現在の状況
本事業については、蔵波側の0・3kmの整備を完了しており、県では現在、野田側の0・9km区間において用地取得を進めています。これまでに、地元説明会を総合、引き続き、境界立ち合いや用地取得を実施していく予定です。

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの現道市蔵波から野田までの現道

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの現道市蔵波から野田までの現道

●概要
県道長浦上総線の袖ヶ浦市蔵波から野田までの現道市蔵波から野田までの現道

袖ヶ浦市の主要な道路 各所で整備進む

省エネ家電購入を支援 GoToイートも実施へ

※青字の事業は新規
●生活者支援
①家庭向け省エネ家電購入促進事業 43億3100万円
(省エネ性能の高いエアコン・冷蔵庫・給湯器の購入者に対して、キャッシュレス決済サービスで使えるポイントの付与等を行う)
②千葉県版GoToイート事業 20億円
(プレミアム付き食事券を発行する千葉県版GoToイートキャンペーンを実施)
③公立学校給食費無償化事業 3億2000万円
(市町村と連携し、第3子以降の児童生徒の給食費を無償とする)

●事業支援
①医療機関関係の高騰対策支援事業 32億円
(24時間必要な医療が受けられる体制を維持するため、エネルギー・食料品価格の高騰の影響を受ける医療機関に対し支援)
②社会福祉施設関係の高騰対策支援事業 20億円
(社会福祉施設の入所者の生活環境を維持するため、エネルギー・食料品価格の高騰の影響を受ける医療機関に対し支援)

●事業支援
③省エネ・再エネ型事業再構築・設備投資支援事業 20億円
(中小企業に対するエネルギー価格の高騰の影響を緩和するため、太陽光発電設備の設置や電気自動車の導入等に対する助成予算を増額し、省エネ・再エネ化に対する設備の導入を促進)
④貨物運送事業者関係の高騰対策支援事業 15億円
(全国旅行支援の実施など、今後の観光需要の状況を踏まえながら機動的な観光促進策を実施する)

●事業支援
⑤観光促進キャンペーン事業 15億円
(全国旅行支援の実施など、今後の観光需要の状況を踏まえながら機動的な観光促進策を実施する)
⑥肥料価格高騰緊急支援事業 11億5000万円
(経営に著しい影響を受けている農業者を支援するため、肥料費の一部を助成)

●事業支援
⑦農業水利施設関係の高騰対策支援事業 2億2700万円
(農業者の負担を軽減するため、農業水利施設の電気料金の高騰について、土地改良区等に支援)
⑧漁業用資材価格高騰緊急支援事業 1億2000万円
(厳しい状況にある漁業者の経営安定を図るため、価格高騰額に対する臨時的支援金を給付)

●事業支援
⑨地域公共交通関係の高騰対策支援事業 14億4400万円
(河川の護岸整備や急傾斜地崩壊対策などを拡充)
⑩気象災害に強い果樹産地支援事業 2億円
(令和4年6月の降電被害を受け、多目的防災網の整備を支援)

●事業支援
⑪事業継続計画(BCP)策定等緊急支援事業 3000万円
(中小企業における事業の継続や早期復旧に向けた事業継続計画の策定を支援)
⑫住宅用設備等脱炭素化促進事業 8000万円
(電気自動車や、その電気

物価高騰などに対応

以降の義務教育期間における学校給食費を無償化)
④県立学校の学校給食にお

ける物価高騰対策事業 1100万円
(特別支援学校など給食を県が負担)

実施している県立学校について、食料費の高騰分について県が負担)

●事業支援
⑤省エネ・再エネ型事業再構築・設備投資支援事業 20億円
(中小企業に対するエネルギー価格の高騰の影響を緩和するため、太陽光発電設備の設置や電気自動車の導入等に対する助成予算を増額し、省エネ・再エネ化に対する設備の導入を促進)

●事業支援
⑥肥料価格高騰緊急支援事業 11億5000万円
(経営に著しい影響を受けている農業者を支援するため、肥料費の一部を助成)

●事業支援
⑦農業水利施設関係の高騰対策支援事業 2億2700万円
(農業者の負担を軽減するため、農業水利施設の電気料金の高騰について、土地改良区等に支援)

●袖ヶ浦市と県政に関するご要望をお寄せください。

えのさわ吉克 県事務所
〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9 TEL.0438-75-8881 FAX.0438-75-8882

を家庭で使用する充放電設備導入や家庭用蓄電池の設置等への補助について予算を増額し、導入等を促進)
●文化・スポーツの振興
①千葉県生誕150周年記念事業 4500万円
(令和5年は、千葉県が設置されてから150周年の節目の年となることから、記念事業等を開催)
●後援
県は、感染症や物価高騰について、今後も、その影響を注視するとともに、国の対応も踏まえながら、必要な対策を臨機応変に講じ、更なる補正予算の編成も検討していくとしています。